

小郡市地域おこし協力隊  
による活動報告コラム。

小郡農業活性化

# 小郡で育てて 小郡で食べる

日々の活動を  
配信中!

Facebook 小郡市地域おこし協力隊

Instagram moromoro82

Twitter nougyou\_ogori82

市産の農作物を、  
多くの消費者へ



諸岡佳紀(もろおかよしき)

1984年、佐賀県生まれ。京都の大学を卒業後、金融業界、新聞社で10年間勤務。小郡市に住む友人の影響で、まちの魅力を身近に感じ、地域おこし協力隊に興味を抱く。35歳の節目に一念発起で応募。



持ち込んだ野菜は、ほとんど売り切れるほどの盛況ぶりでした

福岡市天神で、宝満の市の農作物をPRしました

4月17日、県内で活動する地域おこし協力隊員が集い、日頃の地域での取組を発表するマルシェイベント「つながりたいたマーケット」が福岡市天神で開催されました。

小郡の地域おこし協力隊として、日頃連携している生産者直売所「宝満の市」の農作物をPRすることになり、イベント前に、直売所の農家さんに農作物の出荷をお願いしました。すると「諸岡君の晴れ舞台ならば」と皆さん快く応じてくれ、26の農家さんから40品目以上の農作物を提供してもらいました。

天神の街で、小郡の自然の中で収穫された野菜を並べ、「今朝採れた新鮮な農作物ですよ!」と会場を訪れた人々を呼び込みました。県内11の自治体が地元特産品を販売し、家族連れなど400人以上の来場があったイベント会場。商品と値札を二度見し、「安い!」と驚きのリアクションをする人も。福岡市中央区在住の女性はチンゲン菜と水菜、ニンニク、イチゴ、トマトを購入。「こんなに買って全部合わせて千円以下なんて:天神の物価では考えられない。今度、小郡を訪れたい」との感想をもらいました。

協力隊になって、地域に根差してきた2年。農家さんのご協力もあり、うれしい感想もいただき、今までの活動が報われたイベントとなりました。



## Ogostagram

地域おこし協力隊の日々の活動記録。



光行のチューリップ畑。2500平米の畑に2万個の球根を植え、13色の大輪のチューリップが咲いていました。インスタ映え確実のスポットです。



2月~3月に、宝満の市で平岡学園の学生さんがつくったチョコレートが販売されました。バレンタインはもちろん、お返しのホワイトデーにも好評でした。



就労継続支援B型作業所「ろーど」が、野菜を販売しています。上岩田の施設駐車場でトラックの荷台での無人販売。どれも新鮮でお得感たっぷりです!



昨年度、フォトコンテスト「おごおりスマイル」を開催した市民団体Fromおごおり。今年度も「小郡を元気にしよう!」と動き出しています。乞うご期待。



女性農家のグループ「小郡☆農ガールズ」。令和元年度は甘酒、昨年度には醤油を6次化特産品として開発。今年度も、第3弾を計画しています!



散歩でいつも松崎の野田宇太郎詩碑を訪れています。野田氏が編集長を務めた文芸誌「文藝」は、「推し、燃ゆ」の宇佐美りんさんを輩出しています。